

校番	032	ホームルーム活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式2
----	-----	----------	-------	---	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立沼南高等学校	校長	矢野 智之	生徒指導主事	松浦 祐子
-----	------------	----	-------	--------	-------

**取組事例名** 『第16回 沼南高等学校 体育祭』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「お互いを認め合う」	2	「自分の役割に責任を持つ」	1	「自己肯定感」	3

**取組のねらい**

○体育祭への参加を通して、体力の向上や運動に親しむ態度の育成を図り、相互を尊重しながら自分の役割を責任を持って果たすことができる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『助け合い』
<p>○各学年・クラスで出場種目のメンバーを決める（体育委員が運営）。</p> <p>○委員会単位で体育祭の運営業務を分担し、さらに委員会内で役割分担を行う。</p> <p>○学年練習を2時間確保し、行進練習や種目練習を通して学年の結束力を高める。</p> <p>○予行練習及び本番当日は、できるだけ生徒に運営を任せる。</p>	<p>○出場種目数に偏りが出ないように、できるだけ生徒同士で調整させる。</p> <p>○統一委員会を開催し、業務内容を各委員会で徹底する。</p> <p>○行進練習でリズムを揃えるためには、お互いの掛け声が必要であることに気付かせる。</p> <p>○クラスを越えた種目練習を重ね、学年集団としての意識を高める。</p> <p>○予行練習で運営上の問題点があれば改善する。</p> <p>○種目の性格上危険な場面が予測される場合は、必ず教員の補助をつける。</p> <p>○自分の役割についての振り返りができる質問項目にする。</p>



○事後アンケートを実施する。

**取組の成果と課題**

- 【成果】** 事後アンケートにおいて「自分の役割を責任を持って果たすことができたか」に対し96.1%、「クラス・学年など周囲の人の気持ちを考えて参加することができたか」に対し98.1%の生徒が「はい」と答えることができた。
- 【課題】** 体育祭に対し生徒間に温度差のあるクラスでは、準備段階から役割分担や参加種目に偏りが見られ、そのことに不満感を持つ生徒がいる。